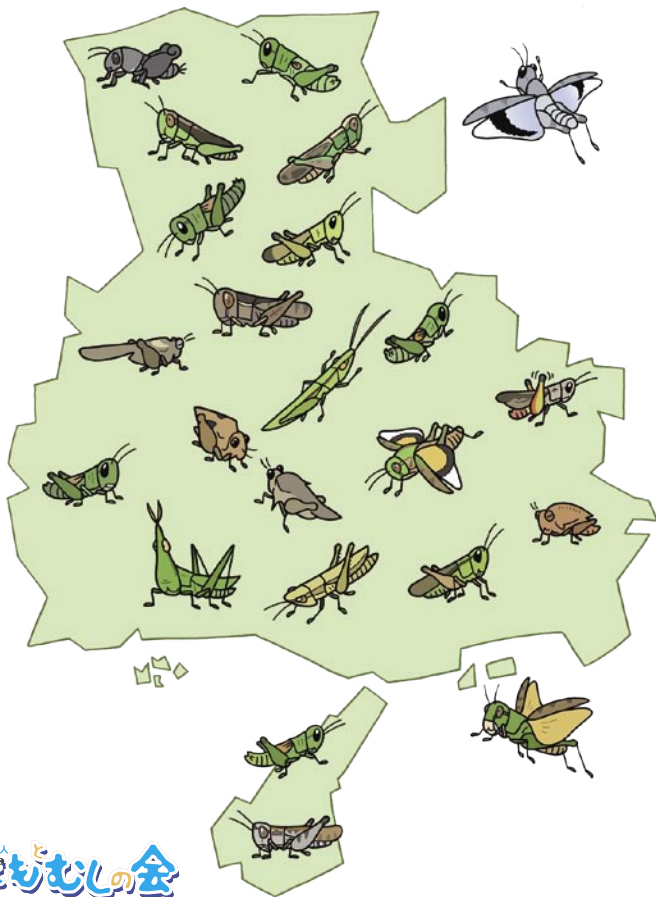


ひょうごのばった



ひょうごのばった



はじめに

兵庫県は北部が日本海、南東部が大阪湾、南西部が瀬戸内海（播磨灘）、そして淡路島南端は太平洋に面しています。また、県西部には県内最高峰の標高 1510m の氷ノ山があり、山地のブナ林から丘陵地の里山、平地の田畑、照葉樹林、海岸植生まで多様な自然環境を有しています。

そして、兵庫県のバッタを語る上で忘れてはならないのが草地と草原です。フキバッタやヒシバッタなどの一部のバッタは林や森にすんでいます。バッタの主な生息地は草地や草原のような場所です。兵庫県では過去に農耕用牛馬の放牧や茅場として利用されていた草地が、現在でも豊かな草地・草原環境として県内各地に残っています。

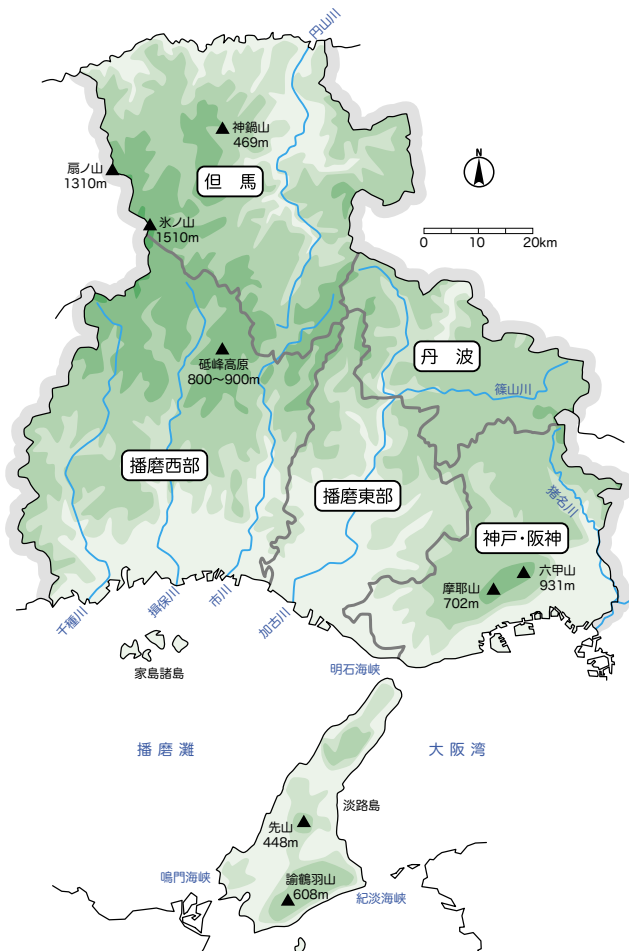
兵庫県にはその多様な自然環境に伴って、よく見かけるバッタから珍しいバッタまでいろいろなバッタが分布しています。ぜひ、この「ひょうごのばった」図鑑を片手にバッタを探してみてください。皆さんの身近なところにもきっといろいろなバッタが見つかるはずです。

●バッタとは？

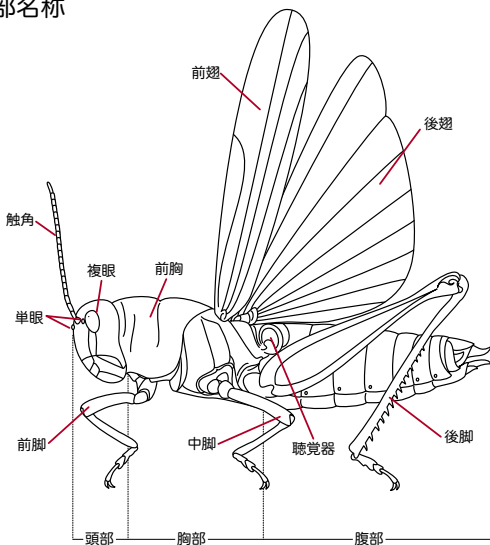
分類学的にはバッタ目 (ORTHOPTERA) のバッタ亜目 (Caelifera) のことをさします。バッタ目にはもう1つコオロギやキリギリスなどのコオロギ亜目 (Ensifera) が含まれます。コオロギ亜目の触角は細くて体より長く、耳は前脚脛節についていますが、バッタ亜目の触角は短く、耳は腹部第1節の側面にあるのが特徴です。また、コオロギ亜目には夜、前翅をこすって鳴く虫が多く含まれます。

バッタの種数データ			
分類群	世界	日本	兵庫
バッタ目	21396 種	445 種 32 亜種	128 種 3 亜種
バッタ亜目	10396 種	119 種 14 亜種	36 種 1 亜種
ノミバッタ科	128 種	4 種	2 種
ヒシバッタ科	900 種	38 種	9 種
オンブバッタ科	534 種	3 種	2 種
バッタ科	6416 種	72 種 14 亜種	23 種 1 亜種

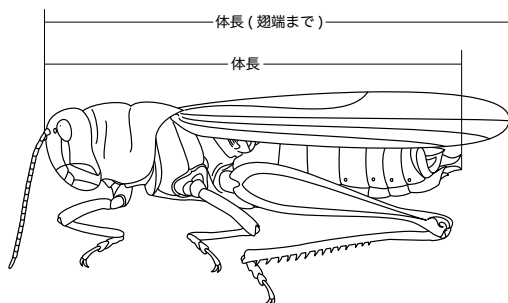
※種数データは日本直翅類学会編 (2006) バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑、北海道大学出版会、より引用



●各部名称



●体の測り方



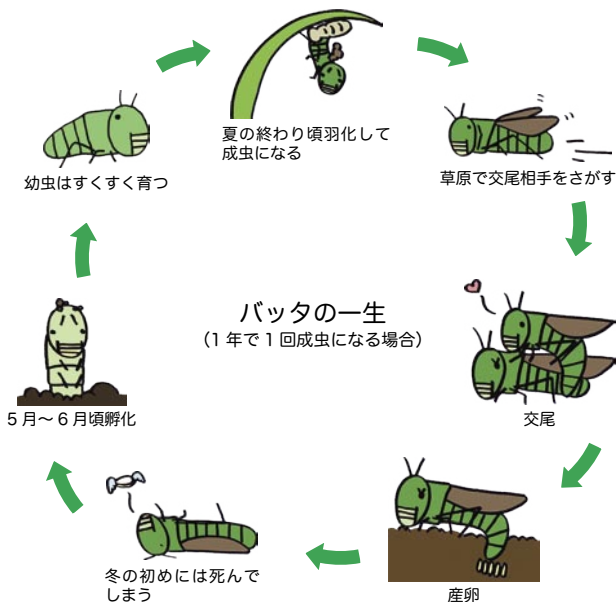
●トノサマバッタのオスとメスの見分け方



オスのおしり（尾端）
は舟のような形



メスのおしり（尾端）
には卵を産む時に使
う突起がある





ノミバツタ *Xya japonica*



メス

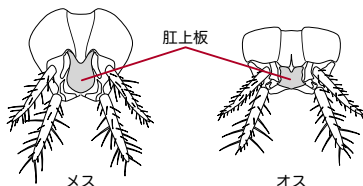


オス

オスとメスの見分け方



兵庫県三田市 2013年10月



メス

オス

尾端を背面から見た図。肛上板の形態で見分ける。

畑や河川敷、庭などの湿った砂地にすむ。跳ねる力がとても強く名前の通りノミのように飛び跳ねる。成虫で越冬。阪神地域では南西諸島に分布するマダラノミバツタ (*Xya riparia*) が見つかっている。体長4～6mm。4月～6月、9月～11月に成虫。北海道、本州、四国、九州；ロシア極東地方、朝鮮半島に分布。

兵庫県内の分布域





トゲヒシバツタ *Criotettix japonicus*



メス



オス



メス

トゲがある



オス

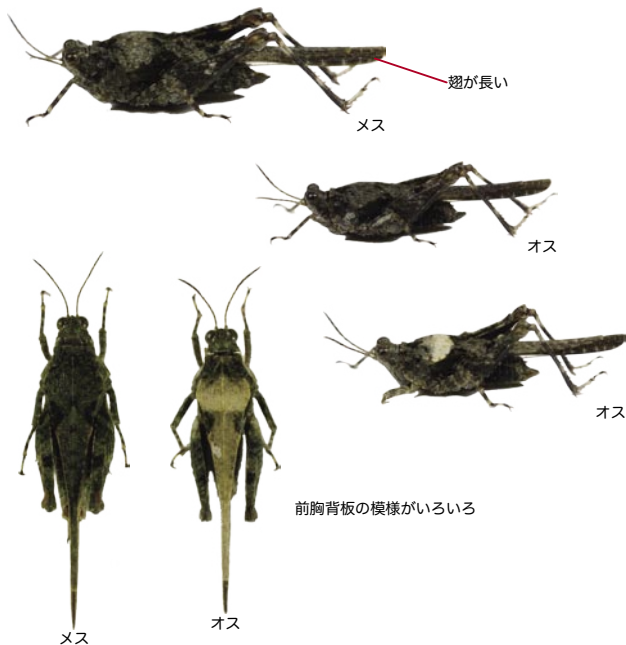
河川敷、池沼、田んぼの周りなどの湿地にすむ。胸の両側にトゲがあるかっこいいヒシバツタ。成虫で越冬。体長♂ 17～18mm、♀ 17～20mm。4月～11月に成虫。北海道南部、本州、四国、九州；中国、朝鮮半島に分布。

兵庫県内の分布域





ハネナガヒシバツタ *Euparatettix insularis*



湿った草地にすむ。成虫で越冬。体長♂ 9 ~ 10mm、♀ 10 ~ 12mm。4月 ~ 11月に成虫。本州、四国、九州、南西諸島(奄美大島以北); 朝鮮半島に分布。

兵庫県内の分布域





ニセハネナガヒシバツタ *Ergatettix dorsifer*



メス 愛媛県土居町 2008年5月 村井貴史氏撮影



オス 愛媛県土居町 2008年5月 村井貴史氏撮影

河原の砂地にすむ。他には墓地の砂地で見られる。ハネナガヒシバツタに似ているが中脚腿節下側や体の腹面に長毛が生えている。体長♂12mm、♀12～14mm。6月～11月に成虫。本州（関東地方以南）、四国、九州、南西諸島；台湾、東南アジア、インドに分布。

兵庫県内の分布域





コバネヒシバツタ *Formosatettix larvatus*



メス 愛知県藤岡町 2009年5月 村井貴史氏撮影



オス 兵庫県猪名川町 2009年5月 村井貴史氏撮影

林の縁や林床にすむ。前・後翅共に退化している。体長♂10mm、♀11～12mm。5月～7月、9月～11月に成虫。本州、四国、九州に分布。

兵庫県内の分布域





ハラヒシバツタ *Tetrix japonica*



メス



オス



前胸背板の模様がいろいろあって面白い

乾いた草地にすむ。最もふつうに見られるヒシバツタ。体長♂ 8～10mm、♀ 9～13mm。4月～11月に成虫。北海道、本州、四国、九州；ロシア極東地方、中国、朝鮮半島に分布。

兵庫県内の分布域





ヤセヒシバツタ *Tetrix macilentata*



メス 奈良県上北山村 2008年8月 村井貴史氏撮影



オス 奈良県上北山村 2008年8月 村井貴史氏撮影

林道や山道のような明るく乾いた場所にすむ。
体長♂ 8～10mm、♀ 10～11mm。4月～
11月に成虫。本州、四国、九州；朝鮮半島に分布。

兵庫県内の分布域





ヒメヒシバツタ *Tetrix minor*



メス 沖縄県与那国島 2009年4月 村井貴史氏撮影



オス 沖縄県石垣島 2008年10月 村井貴史氏撮影

大きな川の河川敷などの湿った草地にすむ。体長♂8～9mm、♀8～11mm。4月～11月に成虫。北海道、本州、四国、九州、南西諸島；ロシア極東地方に分布。

兵庫県内の分布域





モリヒシバッタ *Tetrix silvicultrix*



メス 兵庫県猪名川町 2006年7月 村井貴史氏撮影



オス 兵庫県猪名川町 2009年5月 村井貴史氏撮影

林の縁にすむ。翅は短い。体長♂ 9～10mm、
♀ 10～11mm。4月～7月に成虫。本州(愛
知県以西～近畿地方、鳥取、岡山)に分布。

兵庫県内の分布域





ノセヒシバツタ *Alulatettix fornicatus*



メス 大阪府豊能町 2009 年 6 月 村井貴史氏撮影



オス 大阪府豊能町 2009 年 6 月 村井貴史氏撮影

明るい林の縁や林床にすむ。背中の盛り上がりがかっこいい。前・後翅共にかなり退化しており、前翅をいれるくぼみも退化している。体長♂ 9～10mm、♀ 10～12mm。4 月～7 月に成虫。本州 (愛知県以西)、四国、九州に分布。

兵庫県内の分布域



兵庫県の菱形のヒシバツタの検索

後脚腿節に切れ込みがない



残念ながら幼虫ではまず無理です…

後脚腿節に切れ込みがある



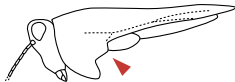
成虫

前胸背板が盛り上がる
後翅は微翅



ノセヒシバツタ

前胸背板側面のくぼみは2つ



後翅は短翅～長翅

ヒシバツタ属

前胸背板側面のくぼみは1つ



コバネヒシバツタ

※ヒシバツタ属も幼虫は凹みが1つなので注意！

兵庫県の変形のヒシバツタの検索（続き）

後翅は短翅



モリヒシバツタ

前胸背板断面を前から
見るとふくらまない



林道沿いのような環境で
見つかる

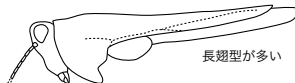


ヤセヒシバツタ

前胸背板断面を前から
見ると上面が少しふくらむ



大きな川の河川敷の湿った
草地で見つかる



長翅型が多い

ヒメヒシバツタ

ハラヒシバツタ



オンブバッタ *Atractomorpha lata*



メス 緑色型



メス 褐色型



オス 緑色型



オス 濃緑色型

アカハネオンブバッタ



後翅が赤い 松本吏樹郎氏提供



後翅はほぼ無色

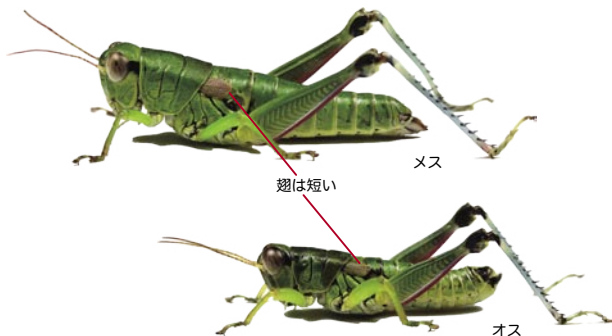
背の低い草地にすむ。畑や公園、庭先でもよく見られる。近年、大阪や阪神地域で後翅の赤いアカハネオンブバッタ (*A. sinensis*) と思われる種類が見つかった。体長♂ 20 ~ 25mm、♀ 40 ~ 42mm。8月 ~ 11月に成虫。日本全土；中国東北部、朝鮮半島に分布。

兵庫県内の分布域





ダイリフキバッタ *Callopodisma dairisama*



葉上でたたずむ 兵庫県豊岡市 2013年8月

高原の草地、スキー場、キャンプ場のような開けた場所にすむ。分布はかなり局所的で見つけるとうれしいバッタの1つ。体長♂ 20～22mm、♀ 26～30mm。7月～9月に成虫。本州(東海、近畿地方中部と北西部、中国地方東部)に分布。

兵庫県内の分布域





ヤマトフキバッタ *Parapodisma setouchiense*



交尾中 兵庫県洲本市 2013年8月

林の縁から畑のわきのクズが生えているような場所にすむ。淡路島では最もふつうに見られるフキバッタ。体長♂ 22～28mm、♀ 27～38mm。8月～11月に成虫。本州、四国、九州；中国、朝鮮半島に分布。

兵庫県内の分布域





オマガリフキバッタ *Parapodisma tanbaensis*



メス



オス



尾枝は曲がる



朽ち木に産卵中 兵庫県三田市 2009年10月

林の縁にすむ。フキ、アザミ、アジサイなどの葉の上でよく見つかる。体長♂ 22～30mm、♀ 30～35mm。8月～11月に成虫。本州(福井西部、滋賀、京都、大阪北部、兵庫東部)に分布。

兵庫県内の分布域





ヒョウノセンフキバッタ

Parapodisma hyonosensis hyonosensis



メス



オス



キビフキバッタ メス 兵庫県姫路市 2006年10月 市川憲平氏撮影

林の縁にすむ。播磨西部に分布するキビフキバッタ (*Parapodisma hyonosensis kibi*) はヒョウノセンフキバッタの亜種とされている。体長♂ 20～28mm、♀ 26～38mm。8月～11月に成虫。本州(京都西部、兵庫、岡山東部、鳥取東部)に分布。

兵庫県内の分布域





ハネナガフキバッタ *Ognevيا longipennis*



メス



オス



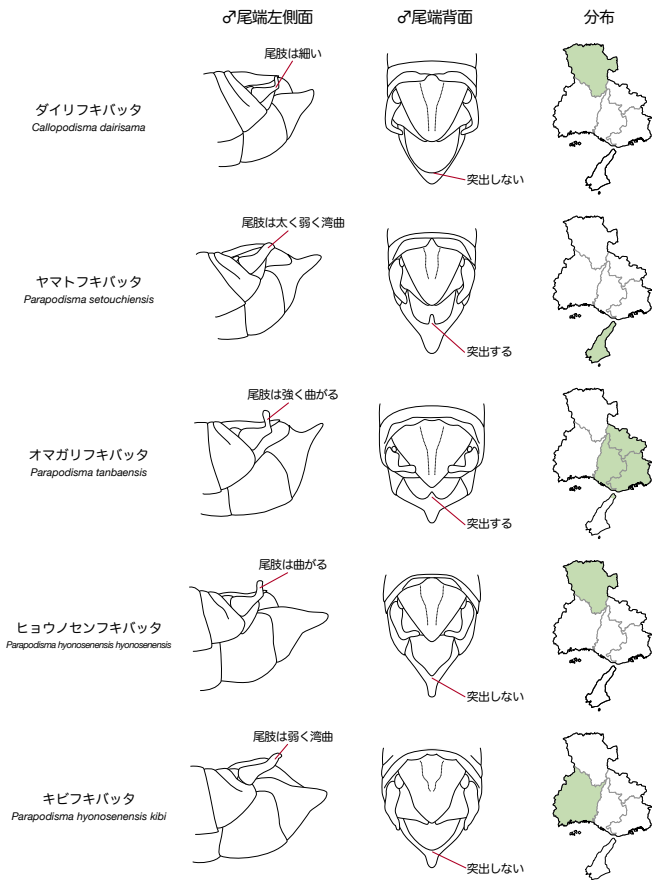
葉上で交尾中 兵庫県豊岡市 2013年8月

山地の草地や背の低い木の林にすむ。体長(翅端まで) ♂ 20～30mm、♀ 24～40mm。7月～10月に成虫。北海道、本州、四国、九州；旧北区中部～東部、サハリン、朝鮮半島に分布。

兵庫県内の分布域

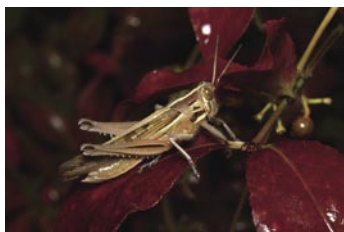
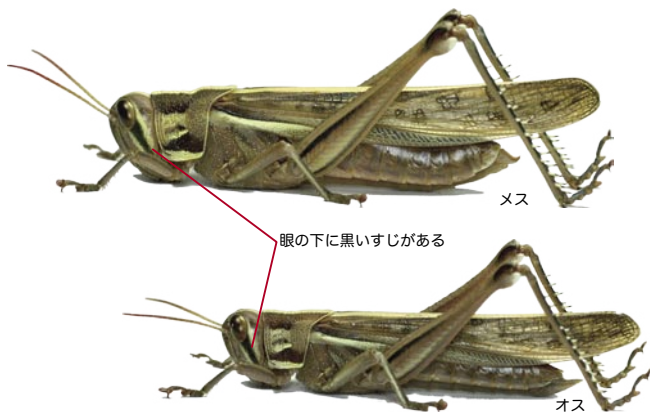


兵庫県の短翅フキバッタ オス尾端形態比較図





ツチイナゴ *Patanga japonica*



晩秋の雨にうたれる 兵庫県三田市 2010年10月

クズが生えているような場所にすむ。秋に成虫になり、そのまま冬を越す。体長(翅端まで)♂ 50～55mm、♀ 50～70mm。4月～6月、10月～11月に成虫。本州、四国、九州、南西諸島；中国東部、朝鮮半島、台湾、北西インドに分布。

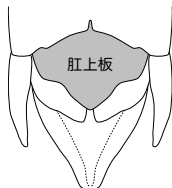
兵庫県内の分布域



ハネナガイナゴ *Oxya japonica*



メスの腹部第3節下側に突起がある



オスの尾端を背面から見た図
肛上板の形がコバネイナゴと異なる

少し湿った草地にすむ。よく飛ぶ。兵庫県での分布は局所的。体長(翅端まで)♂ 17～34mm、♀ 20～40mm。8月～10月に成虫。本州、四国、九州、南西諸島に分布。

兵庫県内の分布域





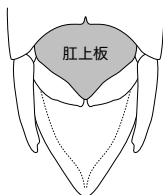
コバネイナゴ *Oxya yezoensis*



メス



メス 赤っぽい個体



オスの尾端を背面から見た図
肛上板の形がハネナガイナゴと異なる



オス

田んぼや池、沼の周り、林の縁にすむ。佃煮や素揚げにするとおいしい。体長♂ 16～33mm、♀ 18～40mm。8月～11月に成虫。北海道、本州、四国、九州に分布。

兵庫県内の分布域





セグロイナゴ *Shirakiacris shirakii*



メス



オス



背中中は黒い

複眼に縞模様がある



よく茂った草地にすむ。生息地ではたくさん見られるが、分布は局所的。色合いが淡くてかっこいい。体長（翅端まで）♂ 35mm、♀ 26～40mm。8月～11月に成虫。本州、四国、九州、南西諸島；ロシア極東地方南部、中国東北部、朝鮮半島、台湾に分布。

兵庫県内の分布域





シヨウリョウバッタ *Acrida cinerea*



メス 緑色型



メス 中間型



オス 緑色型



褐色型のメス
兵庫県篠山市 2013年7月 大塚剛二氏撮影

明るい草地や公園にすむ。とても大きなバッタ。オスは飛ぶときにチキチキ...と音を出す。体長(翅端まで)♂40~50mm、♀75~80mm。8月~11月に成虫。本州、四国、九州、南西諸島;ロシア東部、中国、朝鮮半島に分布。

兵庫県内の分布域





ショウリョウバッタモドキ *Gonista bicolor*



メス 緑色型



メス 褐色型



オス 緑色型



チガヤにそっくり
兵庫県三田市 2008 年 10 月 八木剛氏撮影

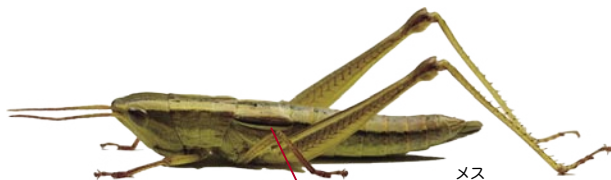
兵庫県内の分布域



チガヤなどのイネ科植物の草原にすむ。体長（翅端まで）♂ 27～35mm、♀ 45～55mm。8月～11月に成虫。本州、四国、九州、南西諸島；中国、台湾、東南アジアに分布。



ナキイナゴ *Mongolotettix japonicus*



メス

メスは成虫になっても翅が短い
(ごくまれに長翅型が見つかる)



オス



兵庫県豊岡市 2013年6月 植田義輔氏撮影

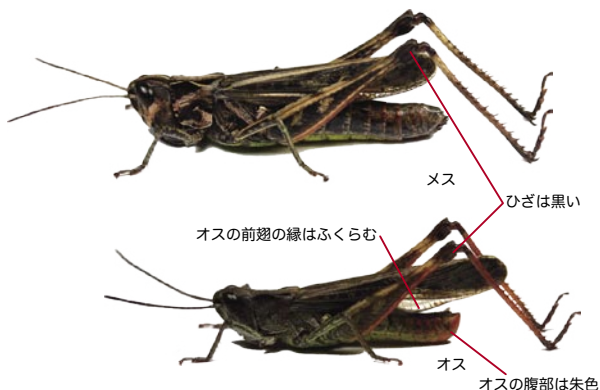
ススキが生えているような日当たりのよい明るい草地にすむ。オスはシャカシャカ...と鳴く。体長♂ 19～22mm、♀ 25～30mm。6月～9月に成虫。北海道、本州、四国、九州；ロシア、中国、朝鮮半島に分布。

兵庫県内の分布域





ヒロバネヒナバッタ *Stenobothrus fumatus*



兵庫県香美町 2005年10月 八木剛氏撮影



兵庫県内の分布域



林の縁の草地にすむ。オスはジュージュルルル…と鳴く。体長(翅端まで) ♂ 23 ~ 28mm、♀ 25 ~ 30mm。7月 ~ 11月に成虫。北海道(南部)、本州、四国、九州に分布。



ヒナバッタ *Glyptothrus maritimus maritimus*



メス



メス 色の濃い個体



後翅の色は薄い



オス

オスの腹部は黄色

日当たりのよい草地にすむ。オスはジュルルル…と鳴く。体長(翅端まで) ♂ 19～23mm、♀ 25～30mm。6月～11月に成虫。北海道、本州、四国、九州、南西諸島；ロシア極東地方、中国、朝鮮半島に分布。

兵庫県内の分布域





イナゴモドキ *Mecostethus parapleurus*



メス 緑色型



メス 褐色型



オス 黄緑型



上品なたたずまい
兵庫県香美町 2012年7月 八木剛氏撮影

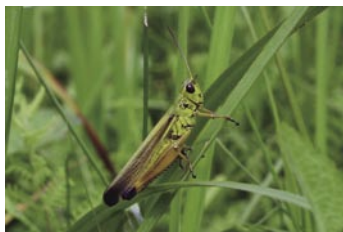
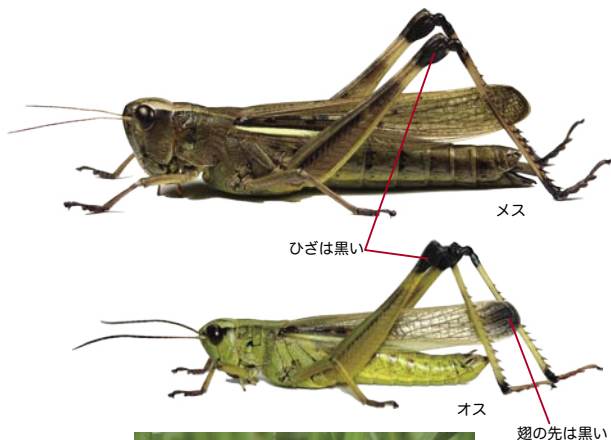
山地の草原にすむ。イナゴに似ているが、のどちんこ(前胸腹突起)は無い。どことなく上品な雰囲気のパッタ。とても小さな音で鳴くが気づかれない。体長(翅端まで)♂ 25～27mm、♀ 25～30mm。6月～9月に成虫。北海道、本州、四国、九州；旧北区全域に分布。

兵庫県内の分布域





ツマグロバッタ *Stethophyma magister*



兵庫県神戸町 2002 年 7 月 八木剛氏撮影

兵庫県内の分布域



背の高い草が茂る湿った草地にすむ。オスは後脚のかかとで翅をけてチャッ・チャッ…と鳴く。体長（翅端まで）♂ 33～42mm、♀ 45～49mm。7月～9月に成虫。北海道、本州、四国、九州；ロシア東部、中国、朝鮮半島に分布。



マダラバッタ *Aiolopus thalassinus tamulus*



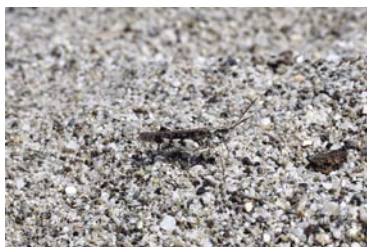
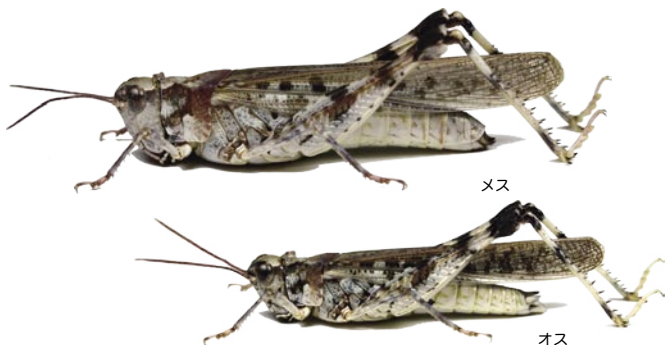
兵庫県内の分布域



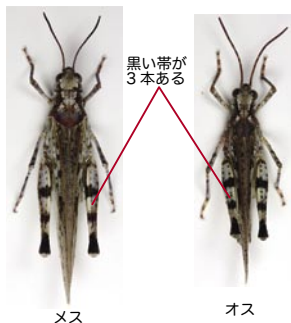
荒地や公園、河原にすむ。オスはチュルチュル…とかわいい音を出して鳴く。体長(翅端まで) ♂ 27～30mm、♀ 34～35mm。8月～11月に成虫。北海道、本州、四国、九州、南西諸島；朝鮮半島、東南アジア、インド、オーストラリアに分布。



ヤマトマダラバッタ *Epacromius japonicus*



砂にとけこむ 兵庫県淡路島 2013年8月



兵庫県内の分布域



良好な環境の海岸の砂地にすむ。全国的に減っているバッタで、兵庫県内では淡路島の一部に分布している。兵庫県版レッドリスト 2012、A ランク。体長(翅端まで) ♂ 30mm、♀ 30～35mm。8月～10月に成虫。北海道、本州、四国、九州；朝鮮半島に分布。



トノサマバッタ *Locusta migratoria*



メス 緑色型



メス 褐色型



オス 緑色型



幼虫



オス 褐色型

兵庫県内の分布域



草原にすむ。大きくて立派でかっこいいバッタ。とてもよく飛ぶ。オス、メスともにカシャカシャカシャ…とよく鳴く。体長（翅端まで）♂ 35～40mm、♀ 45～60mm。6月～11月に成虫。日本全土；アフリカ、オーストラリア、旧北区に分布。

トノサマバッタの羽化



午後2時50分、羽化中のトノサマバッタを発見



午後2時52分、後脚が抜けた



午後3時6分、体を起こして翅を伸ばす



午後3時18分、翅が伸びてきた



兵庫県香美町 2012年7月27日 近藤伸一氏撮影



クルマバッタ *Gastrimargus marmoratus*



帯模様の色は濃い



郊外の草原にすむ格調高いバッタ。オスは飛ぶときにブルルルル ... という音を出す。体長(翅端まで) ♂ 35 ~ 45mm、♀ 55 ~ 65mm。7月 ~ 11月に成虫。本州、四国、九州、南西諸島；中国、朝鮮半島、台湾、東南アジアに分布。

兵庫県内の分布域





クルマバッタモドキ *Oedaleus infernalis*



メス 褐色型



メス 緑色型

帯模様の色は薄い



オス 褐色型



オス 緑色型

荒れ地や草原にすむ。よく見かけるバッタの1つ。体長(翅端まで)♂ 32～45mm、♀ 55～65mm。7月～11月に成虫。北海道、本州、四国、九州；ロシア東部、モンゴル、中国東北部、朝鮮半島に分布。

兵庫県内の分布域





イボバッタ *Trilophidia japonica*

前胸背板に「いぼ」がある



メス



オス



砂地にまぎれる 神戸市須磨区 2007年9月 八木剛氏撮影

地面が見える荒地や公園にすむ。体長（翅端まで）♂ 24～25mm、♀ 35～36mm。7月～11月に成虫。本州、四国、九州；中国北部、朝鮮半島に分布。

兵庫県内の分布域





カワラバッタ *Eusphigonotus japonicus*



メス



メス 赤みがかった個体



後翅の薄い青色が美しい



オス



オス 赤みがかった個体

礫のある河原にすむ。青色の後翅が美しいバッタ。オス、メスともによく鳴く。兵庫県では1980年代以降見つかっていない。兵庫県版レッドリスト2012、Aランク。体長(翅端まで)♂25～30mm、♀40～43mm。7月～9月に成虫。北海道、本州、四国、九州に分布。

兵庫県内の分布域



●採集・撮影・執筆・編集・レイアウト

中峰 空

●執筆協力

市川顕彦 村井貴史

●写真提供

市川憲平 植田義輔 大塚剛二 近藤伸一 松本吏樹郎 村井貴史
八木 剛

●採集協力

稲本雄太 植田義輔 近藤伸一 中浜直之

白山真聖 込山直樹 都野守快成 広常愛理 広井杏羽 上飯屋武琉 北中大輝
岡本樹里 山本聖人(以上9名三田市立富士小学校3年生(2013年度))

●表紙デザイン・イラスト

いずもり・よう

●本文イラスト

いずもり・よう 中峰早織

ひょうごのばった

2014年4月10日 Ver.1 発行

編著 中峰 空

発行 NPO 法人 こどもとむしの会

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

神戸大学農学部昆虫分子機能科学研究室 気付





ノミバッタ



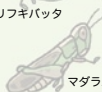
ダイリフキバッタ



カワラバッタ



コバネイナゴ



マダラバッタ



ヒョウノセンフキバッタ



ツマグロバッタ



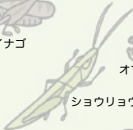
セグロイナゴ



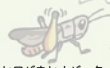
ハネナガヒシバッタ



オマガリフキバッタ



ショウリョウバッタモドキ



ヒロバネヒナバッタ



ハラヒシバッタ



キビフキバッタ



トゲヒシバッタ



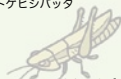
クルマバッタ



ノセヒシバッタ



ショウリョウバッタ



ナキイナゴ



イナゴモドキ



ヤマトフキバッタ



トノサマバッタ



ヤマトマダラバッタ